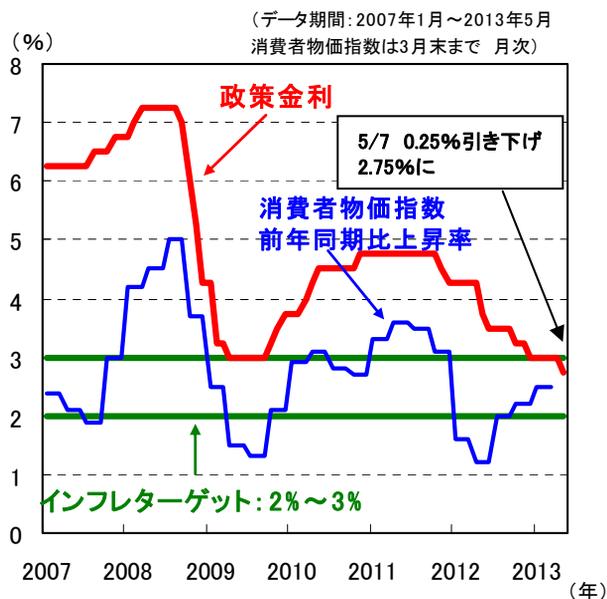




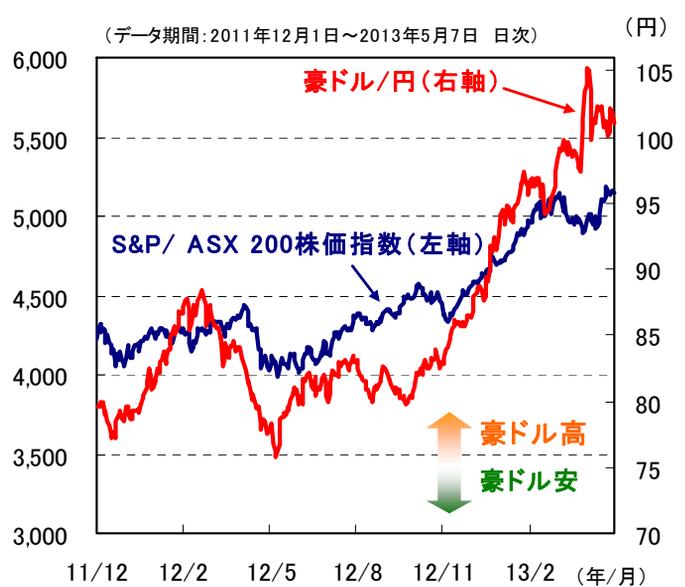
政策金利の引き下げと今後の相場見通しについて

- 5月7日、オーストラリア準備銀行(RBA:中央銀行)は、金融政策決定会合で政策金利であるオフィシャル・キャッシュレートの誘導目標を0.25ポイント引き下げ、過去最低の2.75%に設定しました(図表①)。ブルームバーグ調査ではエコノミスト29人中8人が今回の決定を予想していました。政策金利の引き下げは過去1年7カ月で7回目となります。
- 声明では、オーストラリアの経済成長は、依然堅調ではあるものの、昨年後半から少し停滞気味であり、失業率が若干上昇してきていること、インフレ率が低く抑えられていることを踏まえ、今後の資源分野への投資の継続や消費・輸出を促進するための利下げであることを指摘しています。
- 為替市場では、利下げ発表後豪ドルが下落し、豪ドル/円レートは101.80円近辺から100.80円近辺まで変動しました。
- 米連邦準備制度理事会(FRB)はQE3(量的緩和第3弾)を、日本銀行も量的・質的金融緩和を継続中です。オーストラリアの金利水準は、日米と比較して高い水準にあることから、引き続き豪ドルのサポート要因になると見えています。
- また、株式市場については、利下げによる景気支援の効果が期待できると思われることやオーストラリアの景況感が相対的に良好であることから、底堅く推移すると予想しています。

【図表①】 政策金利と消費者物価指数推移



【図表②】 豪ドル/円レート、オーストラリア株価推移



出所:ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。